

# 市町村学力向上アクションプラン(平成28年度版)

(別紙様式1)

1 学力の状況										
① 平成27年度 全国学力・学習状況調査結果(正答率)										
区分	小6・国		小6・算		小6 理科	中3・国		中3・数		中3 理科
	A知識	B活用	A知識	B活用		A知識	B活用	A知識	B活用	
国東市	72.1	67.3	76.0	44.7	60.1	76.9	64.7	66.2	40.7	53.3
大分県	71.5	66.7	76.7	44.6	62.8	75.9	65.6	63.0	39.4	52.9
全国	70.0	65.4	75.2	45.0	60.8	75.8	65.8	64.4	41.6	53.0

  

② 平成27年度大分県学力定着状況調査結果(偏差値)										
区分	小5・国		小5・算		小5・理		は、全国平均以上の項目			
	知識	活用	知識	活用	知識	活用				
国東市	50.6	49.8	51.7	51.4	52.3	51.2				
大分県	51.6	50.5	52.3	52.4	52.1	51.3				

  

区分	中2・国		中2・数		中2・理		中2・英	
	知識	活用	知識	活用	知識	活用	知識	活用
国東市	49.6	47.7	51.0	50.3	51.2	49.8	48.9	48.9
大分県	51.0	49.4	51.0	50.5	50.6	50.5	49.9	49.9

2 平成25～27年度間の取組の検証	
平成27年(最終年)度の指標	達成状況・取組状況・成果等
<p>達成指標</p> <p>全国学力・学習状況調査において 1 全ての教科が全国平均を超えた学校数 小学校11/11 中学校4/4 2 正答率3割以下の児童生徒の半減 国語A 小0.6% 中1.2% 国語B 小10% 中6% 数学(算数)A 小0.5% 中4.5% 数学(算数)B 小8% 中18%</p>	<p>1 全ての教科が全国平均を超えた学校数 H25 小学校0/11 中学校0/4 H26 小学校5/11 中学校1/4 H27 小学校2/11 中学校1/4 (未達成)</p> <p>2 正答率3割以下の児童生徒の半減 国語A 小2.8%(未達成) 中1.2%(達成) 国語B 小16.7%(未達成) 中14%(未達成) 数学A 小5.2%(未達成) 中7.3%(未達成) 数学B 小36.4%(未達成) 中43.6%(未達成)</p>
<p>取組指標1</p> <p>1 習熟度別指導実施状況の割合 数学・英語 全指導時数の80%</p> <p>2 学習のきまりが守れた児童生徒の割合 90%</p> <p>3 学校図書館を学期に1回以上活用した授業実践 100%</p>	<p>1 習熟度別指導実施状況の割合 算数・数学59%(未達成) 英語58%(未達成)</p> <p>2 学習のきまりが守れた児童生徒の割合 小学校:78% 中学校:92% 合計:83%(未達成)</p> <p>3 学校図書館を学期に1回以上活用した授業実践 小学校:99% 中学校:100% 合計:99%(未達成)</p>
<p>取組指標2</p> <p>1 授業観察を日常化する管理職の割合 100%</p> <p>2 公開授業への一人1回以上の参加 100%</p> <p>3 HPを週1回以上更新した学校の割合 90%</p> <p>4 指導主事等の学校訪問の回数 250回</p>	<p>1 授業観察を日常化する管理職の割合 小学校:100% 中学校:100% 合計:100%(達成)</p> <p>2 公開授業への一人1回以上の参加 小学校:100% 中学校:100% 合計:100%(達成)</p> <p>3 HPを週1回以上更新した学校の割合 小学校:91% 中学校:75% 合計:87%(未達成)</p> <p>4 指導主事等の学校訪問の回数 199回(11月末現在)</p>

**【総括】**  
 小学校・中学校ともに、この3年間で改善の傾向にはある。特に小学校は、市平均では全国平均を上回る教科が多数を占めるようになった。改善の要因は、大分スタンダードやユニバーサルデザインの授業づくりを意識した授業改善が定着してきたことにより知識・技能が伸びたことによるものである。しかし、活用力には依然として課題があり、これからは新大分スタンダードにある問題解決的な学習に力を入れ、生徒指導の三機能が活かされる授業づくりを推進していく必要がある。

3 平成27年度の実績状況
<p>1 学力向上支援教員・指導教諭による活用型授業の普及(H21～継続) 小学校国語・小学校算数・小学校理科・中学校英語・中学校数学の公開授業や授業後の協議会、実践発表を通して、ユニバーサルデザインの授業、思考力・判断力・表現力等を育てる授業づくりを広げている。(教員一人1回以上参加)</p> <p>2 習熟度別指導推進教員による指導方法の工夫改善の普及(H25～継続) 小学校算数・中学校数学の公開授業や授業後の協議会、実践発表を通して、適切な習熟度別指導のあり方を広げている。(教員一人1回以上参加)</p> <p>3 全学校自主公開研究発表の実施(H25～継続) 他校に発信できる校内研究(授業改善)の推進を図る。また、自主公開研究発表会に参加することにより、他校の取組を参考にしながら推進を図っている。</p> <p>4 教科部会の活性化 各部会ごとに授業研究会を実施し、思考力・判断力・表現力等を高める指導のあり方について協議した。また、学力調査において課題のみられた部分を中心にフォーローアップシートを作成した。</p> <p>5 児童生徒による授業アンケートの実施(H27新規) 児童生徒が教師の授業について感じているままに4段階でアンケートに回答し、教師はその結果をもとに自分の授業を振り返り改善を図る。</p> <p>6 学びに向かう学校づくり中核校の指定【国東中学校】(H27新規) 全教員が全教科において、生徒指導の三機能を生かした授業改善に係る校内研究を3部会による組織的な研究体制で推進するため、指導教諭と研究主任による複数による推進体制を確立した。国中スタンダード(①多様な考えをもてるような課題設定 ②考えたことを表現するワークシートの活用 ③思考の流れのわかる板書)を設定し推進した。</p> <p>7 家庭・地域との連携を教科した学力の向上(H26～継続) 全学校において目標協働達成の取組、あるいはコミュニティ・スクールの取組を推進した。学力の状況や課題を共有し、家庭・地域でできることを協議し、実施していった。</p> <p>8 国東市世界農業遺産中学生サミットの開催(H27新規) ふるさと国東のすばらしさを探求的な学習を通して学び取るとともに、学んだことを発信する機会をつくり、思考力・判断力・表現力を高める機会とする。</p> <p>9 水曜・土曜学習の実施(H23～継続) 水曜日(毎週)と土曜日(月1回)に、地域の指導者のもと、一人ひとりに応じた補充学習を実施している。 (1)小学校:水曜日(15:00～16:30)、土曜日(月1回9:00～11:30)全小学校にて実施 対象:3年生以上 (2)中学校:水曜日(15:00～16:30)、土曜日(月1回9:00～11:30)全中学校にて実施 対象:3年生等</p>

4 課題(平成28年度に向けて)	
(1) 児童・生徒の課題	(2) 学校等が抱える組織的・構造的な課題
<p>①中学生の学力向上</p> <p>・小学生の学力は全国平均を上回る教科が多いが、中学生の学力は伸び悩んでいる。特に英語は全国平均を下回る状況が続いており、改善が求められる。</p> <p>②思考力・判断力・表現力等の育成</p> <p>・学力調査結果によると、知識より活用が全国平均を下回る教科が多く、思考力・判断力・表現力を育む必要がある。</p> <p>・小・中学生ともに質問紙において、「学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか。」の項目が全国平均と比べて高く、授業の中で書く活動や資料等を使って説明する活動の充実が求められる。</p>	<p>①学校評価の短期検証・改善サイクルの確立</p> <p>・全学校が学校の重点目標に学力向上を掲げ、年間の目標設定だけでなく短期の目標設定を行っているが、検証・改善サイクルをより機能させていく必要がある。</p> <p>②授業改善5点セットの取組推進</p> <p>・授業改善の取組においても短期の検証・改善サイクルを機能させていく必要がある。</p> <p>・日々の授業において、研究主題や研究仮説に基づいた授業実践をしていく必要がある。</p>

5 平成28年度の目標及び指標	
【目標】	
1 小学校・中学校ともに、すべての教科・項目において、全国平均以上の学力を保障する。	
2 授業改善5点セットの検証・改善サイクルを確立する。	
達成指標	取組指標
1 全国学力・学習状況調査・大分県学力定着状況調査において、小学校・中学校ともに全教科(知識・活用それぞれ)全国平均を上回る。 【H27の状況は、「1 学力の状況」を参照】	1 全小・中学校が授業改善5点セットについて、学期ごとに取組指標・検証指標について評価し、改善を行う。
	2 家庭や地域の取組を含めた学力向上プランを作成し、学期ごとに学校の取組指標は8割以上実施する。
	3 毎学期末に児童生徒による授業アンケートを実施する。
	4 中学校教科研修協議会を4回以上実施する。
	5 学力向上支援教員・習熟度別指導推進教員の公開授業に一人1回以上参加する。
	6 中学校数学教員は、数学の学力向上支援教員公開授業、数学の習熟度別指導推進教員の公開授業に2回以上参加する。
	7 中学校英語教員は、英語の学力向上支援教員公開授業、英語の習熟度別指導推進教員の公開授業に2回以上参加する。
	8 ブロック内の自主公開研究発表会に1校一人以上参加する。
2 全国学力・学習状況調査・大分県学力定着状況調査において、全教科(知識・活用それぞれ)全国平均を上回る学校の割合を以下のとおりとする。 小学校:6/11【H27全国調査2/11県調査4/11】 中学校:2/4【H27全国調査1/4 県調査0/4】	

6 平成28年度の行動計画
<p>① 授業改善に関する行動計画</p> <p>ア 学校全体で取り組む授業改善に向けて (管理職による授業改善の推進は必須、小学校における教科担任制の推進を含む) ○授業改善5点セットの取組推進(H27～継続) ・全学校において、授業改善5点セットの取組を校内研究の中心に位置づけて推進する。 ・児童生徒の課題解決に向けた「授業改善テーマ」を設定し、取組内容を日常的に実施する。 ・取組指標・検証指標を学期ごとに評価し、次学期に向けて検証・改善を図る。 ○全学校自主公開研究発表会の実施(H25～継続) ・2年間ないし3年間の継続した校内研究(授業改善)に取り組み、その成果を他校に発信する。 ・他校の自主公開研究発表会に参加し、すぐれた実践を参考にし、自校の取組に生かす。 ○児童生徒による授業アンケートの実施と活用(H27～継続) ・全学校において、各教員が前年度の課題として残ったアンケート項目(個人内で肯定的回答が低い項目)について、前年度を上回る結果となるよう授業の改善を図る。 ○学力向上支援教員・指導教諭による活用型授業の普及(H21～継続) ・国語、算数・数学、理科、英語において、思考力・判断力・表現力等を育成する授業実践を行い、他の教員に対して、授業を公開したり、実践発表を行ったりする。 ○管理職による授業改善の推進(H25～継続) ・管理職が日常的に授業観察を行い、学校独自の授業観察シートをもとにして教員を指導する。</p> <p>イ 習熟の程度に応じた指導の充実に向けて(補充指導の充実を含む) ○ユニバーサルデザインの授業づくり《基礎的環境整備の工夫》(H25～継続) ・習熟ができていく児童生徒が楽しく「わかる」「できる」ことをめざし、焦点化・視覚化・共有化等の工夫を行う。 ○合理的配慮の提供(H25～継続) ・ユニバーサルデザインの授業を実施しても習熟ができていく児童生徒に対しては、一人一人に応じた個別の支援を行う。 ○発展的な問題等への挑戦(H25～継続) ・習熟が進んでいる児童生徒については、他の児童生徒へ説明させたり、類似問題を作成させたり、発展的な問題に挑戦させたりする機会を作る。 ○補充学習の充実(H25～継続) ・朝の帯時間や放課後等を活用して、一人一人に応じた内容のプリント学習を実施する。 ○習熟度別指導推進教員による習熟度別指導の推進(H25～継続) ・算数・数学、英語において、習熟度別指導を実践し、公開授業や実践発表を通して習熟度別指導のあり方を提起する。</p> <p>ウ 司書教諭等を核とした学校図書館を活用した指導体制の確立に向けて ○公開授業の実施 ・国語科学力向上支援教員による学校司書と連携した授業実践を公開し普及を図る。</p> <p>エ 市町村の教科部会を活用した授業改善に向けて(特に中学校) ○授業研究会の実施 ・くさき地区教育研究会の各教科部会において、授業研究会を実施し教科指導力の向上を図る。 ○教科研修協議会の実施【H28新規】 ・くさき地区教育研究会協議会の各教科部会とは別に、教科担当者ごとに集う教科研修協議会を年間4回以上実施し、教科の専門性をより高め、思考力・判断力・表現力等を伸ばす授業づくり等について協議し、実践的指導力を高める。</p> <p>② 学びに向かう学校づくりに関する行動計画(幼保小の連携、小中の連携を含む)</p> <p>ア 学びに向かう学校づくり中核校による実践発表の実施 ・国東中学校において、指導教諭が研究主任・生徒指導主事・地域不登校防止推進教員と連携して、生徒の主体性を重視した授業・生徒会活動・学校行事等を推進していく。また、取組を他校に広めるために実践発表を行う。</p> <p>③ 保護者・地域と連携した学力向上の取組に関する行動計画</p> <p>ア 放課後や土曜日の教育環境の充実 ・水曜日(毎週)と土曜日(月1回)に、地域指導者のもと、一人ひとりに応じた補充学習を実施する。 小学校:水曜日(15:00～16:30)、土曜日(月1回9:00～11:30)全小学校にて実施 対象:3年以上 中学校:水曜日(15:00～16:30)、土曜日(月1回9:00～11:30)全中学校にて実施 対象:3年生等</p> <p>④ その他</p> <p>ア 国東市世界農業遺産中学生サミットの開催 ・ふるさと国東のすばらしさを探求的な学習を通して学び取るとともに、学んだことを発信する機会をつくり、思考力・判断力・表現力を高める機会とする。</p>
7 平成28年度の人的支援の希望内容
<p>1 思考力・判断力・表現力を育成する授業普及のための学力向上支援教員の活用 ・小学校国語1名(国東小学校) ・中学校英語1名(国見中学校) ・小学校算数1名(熊毛小学校) ・中学校数学1名(武蔵中学校)</p> <p>2 低学力層の底上げを図るきめ細かい指導を進めるための習熟度別指導推進教員の活用 ・小学校算数1名(安岐小学校) ・中学校数学1名(国東中学校) ・中学校英語1名(安岐中学校)</p>